

Step 1. サステナビリティ・チェック

持続可能な観光に取り組み、かつ基本的な要素を満たしている観光地または事業者のために、「サステナビリティ・チェック」を開発しました。この「サステナビリティ・チェック」は、グリーンデスティネーションズが提供するオンラインプラットフォームを通じて実施され、グリーンデスティネーションズの評価者がレビューします。**1年目の申請では基準の15項目、2年目の申請では30項目を完了する必要があります。**

グッドプラクティス・ストーリーを提出するには、基準の最低60%を達成する必要があります。 GSTCが認定する「グリーンデスティネーションズスタンダード」の重要基準の達成度は、数値で明示されます。参加者は、この結果を元に持続可能性への取り組みを効果的に伝え、周知することができます。

[GSTC-Recognized Green Destinations Standard V2](#)

●一次チェックシート項目対比
黄枠=R5、緑枠=R6

Destinations – 1年目の応募者 15項目(60%以上準拠)

- 1. 地域の特産品や特色あるサービスの奨励** 5-4
 - フェアトレードの方針に基づき、観光のバリューチェーンに地元の職人、生産者、サービス提供者を加えることを支援している。地域の自然や文化、地域性、地域経済に貢献する特産品と持続可能な商品を奨励している。この中には食品、飲料、工芸品、芸能、農産品なども含まれる。
- 2. 事業者における持続可能性の促進** 6-1
 - 観光関連企業に持続可能性の問題を定期的に伝え、その事業をより持続可能なものにするよう奨励・支援している。
- 3. 人権** 5-1
 - 観光地は、人権に関する国際基準を遵守している。また、人身売買、現代の奴隷制、商業的・性的・その他のあらゆる形態の搾取、差別、ハラスメント、特に子ども、青少年、高齢者、障害者、女性、LGBT+などのマイノリティに対する搾取を防止し、報告するための法律、慣行、行動規範が確立されている。
- 4. 地元企業の支援** 5-3
 - 地元企業、サプライチェーン、持続可能な投資を支援することで、観光消費を地域経済にとどめることを奨励している。
- 5. 平等で公正な雇用(企業)** 6-3
 - 観光地の観光企業は、地元での雇用、研修、昇進の機会の平等、安全で安心できる労働環境、そしてすべての人に生活賃金を提供することを保証している。

6. **低環境負荷のモビリティ** 3-8
- 観光地は、交通に関連する大気汚染や観光地での混雑を最小限に抑えるため、低インパクトのモビリティ戦略を採用している。徒歩や自転車、持続可能な低排出ガス車の利用を促進している。
7. **固形廃棄物の削減** 3-5
- 固形廃棄物を削減するための定量的な目標が設定され、適切なモニタリングと報告が行われている。特に、プラスチックや使い捨て用品、食品廃棄物の排除または削減に留意している。
8. **旅行による排出量の削減** 3-7
- 旅行による大気汚染や気候危機に対する影響を低減するため、観光地への移動や域内での移動に伴う交通機関の排出量を削減する目標を掲げ、これらをモニタリングしている。
9. **エネルギー消費量の削減** 3-9
- エネルギー消費量の削減と使用効率の向上のために、定量的な目標を設定し、対策を講じている。
10. **廃水処理** 3-4
- 観光地では、浄化槽や廃水処理システムの設置、メンテナンス、排出物のテストについて、明確なガイドラインが施行されている。観光地では、廃水が適切に処理され、地域住民や環境に悪影響を与えることなく、安全に再利用または放出されるようになっている。
11. **自然保護** 2-1
- 観光地には、生態系、生息地、生物種を保全する仕組みがある。
12. **有形文化遺産** 4-1
- 遺跡や建築遺産、典型的または伝統的な建築物、街のデザイン、文化的景観、遺跡などの文化的資産の評価、保存、真正性、美的表現が適切に管理され、実施されている。
13. **無形遺産** 4-3
- 地域の伝統、芸術、音楽、言語、美食など、地域のアイデンティティや独自性を表す無形文化遺産が適切に保護され、賞賛されている。
14. **地域資産の目録** 1-2
- 自然や文化的な場所を含む、地域資産のリストがある。
15. **観光地管理の方針・戦略** 1-3
- 観光地管理の方針や戦略は、環境、社会、文化、経済の事項に対応しており、複数年計画として立てられ、一般に公開され、常に更新されている。この方針や戦略は、ステークホルダーとの協議

により策定され、持続可能性の原則を含んでいる。観光地において、より広い持続可能な開発政策や活動に関連し、影響を与えている。

Destinations – 2年目の応募者 30項目(60%以上準拠)

All Core 15 criteria +

1. 持続可能性の基準

6-2

- 観光地は、持続可能性の基準の採用を推進し、GSTC-Industry Recognized standards と GSTC-I Accredited certification schemes の観光企業への適用を促進している(可能な場合)。

2. 住民の満足度

5-2

- 観光の持続可能性と観光地管理に対する地域社会の要望、懸念、満足度が定期的にモニタリングされ、結果が公表され、対応した行動がとられている。

3. 来場者による影響の管理

1-4

- 観光地は、来訪者管理のための仕組みを持っており、定期的に見直している。地域経済、コミュニティ、文化、環境のニーズを考慮し、バランスを取りながら、来訪者の量と活動を管理し、特定の時間帯や場所で必要に応じて来訪者を減らしたり増やしたりするための措置がとられている。

4. 健康と安全

5-5

- 犯罪、安全、健康被害など、住民と旅行者へのあらゆる危険が予防され、対応され、適切にモニタリングされ、一般に報告されている。

5. 騒音

3-1

- 騒音は適切に規制され、最小限に抑えられている。観光事業者と訪問者は、騒音を最小限に抑えるように奨励されている。

6. 光害

3-2

- 光害による野生生物、住民、訪問者の体験への影響が適切に対処されている。観光事業者と訪問者は、光害を最小限に抑えることが奨励されている。

7. 再生可能エネルギー

3-10

- 化石燃料への依存を減らし、再生可能エネルギーの使用を増やすための定量的な目標が設定され、適切な措置が取られている。再生可能エネルギー技術を奨励するためのインセンティブがある。

8. 気候リスクへの対応

3-11

- 観光地は、気候変動に関連するリスクと機会を特定している。観光地の回復力を高めるため、観光施設の立地、設計、開発、管理について、気候変動への適応戦略を追求している。

9. 廃棄物の分別とリサイクル

3-6

- 廃棄物の分別に関する定量的な目標が設定され、適切に監視・報告されている。産業廃棄物を含むすべての廃棄物は、廃棄物の種類ごとに効果的に分別されたマルチストリームの回収・リサイクルシステムを提供することで、埋立地からの転換を図るために適切に分別・処理されている。

10. 水使用量の削減

3-3

- 観光地での水の使用量を削減するための定量的な目標を設定し、節水対策を実施している。

11. 観光が自然に与える影響

2-2

- 観光が自然環境に与える影響を測定し、モニタリングしている。観光による自然への影響が特定され、適切に対処されている。

12. 風景と景観

2-3

- 自然と田舎の美しい景観が保護され、その土地らしさが維持されている。景観の悪化や、都市の無秩序な拡大から効果的に守られている。

13. 観光が文化に与える影響の管理

4-2

- 文化遺産、建築遺産、文化的に重要な景観、土地利用を大切にする観光では、負の影響の回避が注意深く管理されている。損傷、地域文化の崩壊、劣化などのあらゆる影響は適切に監視され、対処されている。

14. コーディネーターおよびチームの研修

1-1

- 持続可能な観光地の開発と管理に携わる担当者及びチームは、持続可能性について適切な研修を受けているか、経験を積んでいる。

15. 配慮が必要な場所における来訪者の行動

1-5

- 文化的な行事や文化的・自然的に影響を受けやすい場所での来訪者の適切な行動に関するガイドラインが作成され、来訪者、ツアーガイド、ツアーオペレーターが訪問前および訪問時に利用可能になっている。